

## 令和4年度長野県地域発元気づくり支援金総括書

事業名	郷就につながる地域連携型キャリア教育～高等学校サポート事業～
事業主体 (連絡先)	郷土愛プロジェクト 伊那市荒井 3500-1 上伊那広域連合内 (98-7227)
事業区分	(3) 教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,563,193 円 (うち支援金: 1,250,000 円)

### 事業内容

- 地域連携型「総合的な探究の学び」の時間のサポート  
郡内6校のキャリア教育、総合的な探究の時間の授業にかかわり、①授業内容の提案 ②講師の選定 ③授業サポート  
(交通手段、講師謝礼などの事務) をコーディネート事業として実施
- 郷就につながる地域連携型ガイダンス  
上記の高校での、具体的な学習展開の中でのサポート  
学校と講師、講師と生徒間の関係性の構築
- 高校間情報交換会  
郡内高校のキャリア教育担当者・探究の時間担当者の  
実践発表や情報交換の場の設定



【伊那西高校キャリアフェス】

### 【目標・ねらい】

- ① 自分たちの住む地域を知る
- ② 地域にある企業や人に出逢う
- ③ 地域に出て活動することを通して、人々の生き方に学ぶ

### 事業効果

講師として学校や生徒に直接関わったことについて、99%の講師が「とてもよかった・よかった」と評価し、満足度が高い。このように地域連携型の学びの必要性についても、講師から100%必要との回答を得られており、地域人の次世代育成や人材育成にかかわる関心が高いと言える。

一方生徒も、地域の人に出逢い、話を聞いたり、一緒に活動することは、自分にとって、とても有意義であったという回答は、約87%と、地域とのふれあいに手ごたえを感じていることがわかる。

人材不足が課題の企業に取っても自社サポートの必要性や、企業連携による人材育成について、9割以上の企業で必要感を感じている。

### 今後の取り組み

- より高校生の「知りたい」「やってみたい」に沿ったサポートができるように、活動前の事前調査を大事にしたい。事前調査の結果を、起業訪問やキャリアフェス、ミッションなどに反映させていきたい。
- 地域貢献を考えている企業と、地域の役に立ちたいと考えている高校生をつなぎ、連携して地域に出て活動することを通して、より地域を知る機会、地域の企業の社会貢献内容を知る機会にし、郷就につながる素地を養いたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

### ※自己評価【A】

【理由】高校生、企業、地域人の各高校の授業参加に対しての満足度が高かった。  
昨年度より、サポートの内容が広がり、より各学校の実態に合うサポート・コーディネートができた。